

本日、ここに平成28年市議会8月会議が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

はじめに、先週閉幕したリオデジャネイロオリンピックでは、連日のように、日本選手が活躍し、その健闘ぶりに日本中が歓喜に沸きました。獲得したメダルも史上最多の41個となり、石川県からは、レスリング女子の川井梨紗子選手が見事、金メダルを獲得したほか、女子柔道の松本薫選手が2大会連続のメダルを獲得し、さらには、競泳男子800メートルリレーにおいて、小堀勇氣選手が圧巻の泳ぎを披露し、この種目で52年ぶりとなる銅メダルを獲得するなど、日本のメダルラッシュに大いに貢献をいたしました。

選手の活躍の裏には、家族や監督、コーチなど、多くの方の支えがあります。今大会においても、本市出身の金丸雄介さんがコーチを務める男子柔道では、7つの階級全てでメダルを獲得するという、快挙を成し遂げ、さらに、本市出身の中田大輔さんがコーチを務めるトランポリンにおいても、男子個人で上位入賞を果たすなど、それぞれの指導力が遺憾なく発揮をされたところであります。今後ともお二人の益々のご活躍を願うとともに、次回の東京オリンピックに向け、さらなる奮闘を期待するものであります。

次に、先月26日未明、神奈川県相模原市の障害者施設において、死者19名、負傷者27名に及ぶ、過去に例を見ない大変痛ましい殺傷事件が発生いたしました。被害に遭われた方々に対し、心からご冥福とお見舞いを申し上げます。

福祉の現場を襲った今回の事件は、障害のある方をはじめ、その家族、関係者のみならず、多くの国民を不安に陥れました。抵抗できない方々を次々に標的にした残忍極まりない犯行に強い憤りを感じるとともに、このような悲劇は二度と繰り返してはなりません。

本市においては、障害のある、なしに関わらず、お互いの人格と個性を尊重す

る「共生のまちづくり」を推進いたしております。今回、この取組みの重要性をさらに強く認識したところであり、今後、一層の努力を傾注してまいり所存であります。

次に、先週、大阪府門真市で開催された全国JOCジュニアオリンピックカップの夏季水泳競技大会の水球競技において、松任中学校が中学校女子の部で、見事、優勝をいたしました。今年3月の春季大会に続き、春夏連覇を果たし、通算3度目の栄冠を勝ち取りました。「水球白山」の勇名を馳せるこの素晴らしい結果は、生徒達の日々の厳しい練習と弛まぬ努力の賜であり、心から祝福するとともに、関係各位に深く敬意を表する次第であります。今後さらなる飛躍を期待するものであります。

また、去る7月30日に開催されました石川県消防操法大会には、本市より、南消防団白峰分団が出場をいたしました。白峰分団は、6月26日の白山野々市消防訓練大会において、ポンプ車操法、小型ポンプ操法の両部門で優勝し、県大会の出場権を得たものであります。県大会では、今年度から新たに実施された小型ポンプ操法の部において、見事、準優勝を飾り、日頃の訓練の成果が十分に発揮されたものと、心から敬意を表するとともに、地域の安全・安心の確保のため、さらなる消防技術の向上を期待するものであります。

次に、我が国の経済情勢と本市の企業活動についてであります。

先般、内閣府が発表しました4月から6月期の国内総生産、GDPの速報値が前期比、ほぼ横ばいの実質ゼロ成長となり、年率換算でも0.2%の増にとどまるなど、景気は足踏みの状態が続いております。先行きについても、個人消費の低迷に加え、中国経済の減速やイギリスのEU離脱問題など、海外経済の不確実性や金融市場の変動の影響が懸念され、今後の景気の動向に留意が必要であります。

北陸におきましては、所得環境の改善が続き、雇用が着実に回復する一方で、生産面では、市場の減速による企業の慎重姿勢が増しており、先行きは楽観できない

状況にあることから、先般、国において、閣議決定された28兆円規模となる経済対策に大いに期待をいたしているところであります。

このような中、本市におきましては、株式会社ジャパンディスプレイの大型投資に続き、この秋には、株式会社金沢村田製作所の新工場が竣工する予定であります。さらに、先般、株式会社クスリのアオキが横江町土地区画整理事業区域内に本社機能移転に伴う新社屋の建設計画を発表いたしました。このように企業の積極姿勢が際立っており、今後の地域経済の好循環を大いに期待するものであります。

なお、こうした状況のもと、本市の財政状況であります。平成27年度の一般会計決算につきましては、普通交付税の段階的減額措置の影響はあるものの、企業業績の好調を背景に、税収が高水準を維持したことに加え、事務事業の効率的な執行に努めた結果、実質収支で約11億円を本年度に繰り越すことができました。さらに、決算に基づく実質公債費比率や将来負担比率などの健全化判断比率につきましては、前年度より改善しており、引き続き、持続可能で安定的な行財政基盤の確立に努めてまいり所存であります。

それでは、最近の市政の状況についてご説明申し上げます。

はじめに、「白山手取川ジオパーク」の取組みについてであります。

9月25日から「ユネスコ世界ジオパーク国際会議」に出席するため、イギリス西南部のイングリッシュ・リビエラ・ジオパークを訪問いたします。当地はまさに世界有数のジオパークであり、その素晴らしさを体感するとともに、会議では、「白山手取川ジオパーク」の取組みを発表するなど、「白山ユネスコエコパーク」共々、認知度の向上に努めてまいりたいと思っております。さらに、パリのユネスコ本部において、ジオパーク並びにエコパークの責任者との意見交換も行っております。こうした国際的な活動が世界認定に向けた推進力になるものと考えております。また、この機会にあわせ、本市の姉妹都市であるイギリスのボストン町を訪問し、交流を深めてまいりたいと思っております。

次に、「第2次白山市総合計画」の策定についてであります。

平成29年度からの10年間を計画期間とする「第2次白山市総合計画」につきましては、先の市議会6月会議において、将来都市像と7つのまちづくりの目標を定めた「基本構想」を議決いただいたところであります。「基本計画」の策定に向けては、現在、重点施策の抽出や目標指標の設定、将来都市像を実現させるための各種施策の体系整理など、鋭意、作業を進めております。今議会中に、議員の皆様へ、基本計画の施策体系等について、中間報告をさせていただくことといたしております。また、若者の声をより多く、計画に反映させるため、来月、高校生や大学生などを対象とした、ワークショップを開催することとしております。いずれにしましても、より多くの皆様方からご意見を賜りながら、「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」に相応しい総合計画を策定してまいりたい所存であります。

次に、「まちづくり会議」についてであります。

本年度は、市内の各種団体を対象とし、すでに6回の会議を開催しております。それぞれの団体が抱える課題や「魅力あるまちづくり」について、活発な意見交換を行うとともに、各団体の視点から、市政に対する様々な意見を拝聴させていただいたところあります。とりわけ、本市が計画する「道の駅」や市民協働による地域の活性化、企業誘致などに関しては、多くの意見があり、こうした各種団体の皆様方からの貴重な意見や提言につきましては、これまで同様、今後の施策にできる限り生かさないか、すでに検討を始めているところであり、引き続き「対話と参加」の市政運営に努めてまいりたい所存であります。

次に、「こども食堂」についてであります。

経済的に恵まれない家庭の子どもの現状が社会問題となるなか、本市初の取り組みとして、ひとり親家庭等の子どもやその保護者を対象に「こども食堂」を実施いたしております。まず、この夏休み期間中に、福祉ふれあいセンターや美川文化会館、林公民館において、延べ4回実施をいたしましたところ、100名を超える親子に参加をいただきました。子どもたちは、食事や夏休みの宿題、ゲームなどを通して、

互いに、交流し、保護者も子育てなどについて、情報交換をいたしました。

先週、私も参加させていただきましたが、子どもたちのいきいきとした表情を見て、みんなで食卓を囲む楽しさを少しでも伝えられたのではないかと感じたところでもあります。今後、冬休みの期間に4回の実施を予定しており、引き続き、こうした機会を提供し、子どもたちが安心して健やかに成長できる地域づくりに努めてまいりたいと考えております。なお、この事業では、主任児童委員の方々や大学生、高校生にボランティアとして、サポートいただき、また、農協や心ある農家の方々から、食材を無償で提供していただくなど、多くの皆様のご協力を得ながら実施をいたしております。さらに、先般、市民からの提案ハガキで、この事業を手伝いたいとの申し出もいただいたところであり、今後とも、こうした方々との連携を深めながら、より良い事業展開が図れるよう、努めてまいりたいと考えております。

次に、子育て支援の充実についてであります。

経済的に恵まれない世帯の第2子及び第3子以降の保育料につきましては、本年4月から第1子の認定要件の見直しに伴い、半額又は無料となる児童の対象が拡大し、保護者の負担軽減が図られることとなりました。しかしながら、子育て世代の経済的不安が継続するなか、経済的に恵まれない世帯に対するさらなる負担軽減が必要であることから、今般、新たに石川県との連携により、第2子の保育料を、無料化し、また、放課後児童クラブの第3子以降の保育料につきましても、助成することにより、減額措置を行うものであります。これらに係る費用につきましては、今議会に補正予算として計上いたしましたところであり、今後も引き続き、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに努めてまいり所存であります。

次に、「健康寿命延伸のまちづくり事業」が11月からスタートをいたします。これは、「第二次白山市総合計画」を先取りするものとして、健康生活支援企業タニタグループと連携し、「見える化」した健康づくりや食育、地産地消の推進に取り組むものであります。具体的には、市民の健康管理を行う「はくさんタニ

「健康倶楽部」の設立や活動量計を使用したカロリー消費量のチェック、健康づくり拠点の整備や食育キッチンカーを利用した地産地消メニューの提供など、様々な事業を展開してまいります。身近な健康づくりを推進することにより、健康寿命の延伸、さらには、医療費の抑制に繋げてまいりたいというふうに考えております。なお、多くの皆様に参加いただけるよう、9月25日開催の「福祉健康まつり」をはじめ、市内各所におきまして、プレイベントを開催し、事業の周知と会員の募集を行うことといたしております。

次に、9月11日に開催されます「第4回白山白川郷ウルトラマラソン」につきましては、全国各地から多数の申し込みがあり、過去最多となる1,759人のランナーがエントリーをいたしております。これまで以上の盛り上がりを期待しており、実行委員会では、大会の成功に向け、鋭意準備を行っているところであります。当日は、スタッフ、ボランティアなど、総勢約1,000人体制で運営にあたることとしており、「白山の雄大な自然と恵み」を十分に堪能していただけるよう、心のこもった「おもてなし」で選手の皆様をお迎えしたいと思っております。

また、先の実行委員会において、来年開催の第5回大会のコース変更を決定いたしました。新しいコースは、白川村をスタートし、白山白川郷ホワイトロードから手取キャニオンロードを通り、白山比咩神社から手取川に沿って日本海へ、そして、松任総合運動公園をゴールするコースとなります。「世界遺産白川郷」と「白山ユネスコエコパーク」、さらには「白山手取川ジオパーク」の魅力をふんだんに盛り込んだコース設定となっており、市内全域でのさらなる盛り上がりを期待するものであります。

次に、「白山開山1300年記念事業」についてであります。

今年から新たに国民の祝日となりました「山の日」にあわせ、事業の成功を祈願する「白山登山」を実施いたしました。白山商工会議所の高松会頭をはじめ、市民の方々にも参加をいただくなど、総勢45名で登山を行ってまいりました。

当日は、天候にも恵まれ、事業の成功と本市のさらなる発展をしっかりと祈願することができました。

また、広報活動につきましては、7月から、職員のPRポロシャツの着用や企業への自動車用マグネットシートの配布、記念ピンバッジの販売、市民交流センターにおける「白山と日本海」をデザインしたLEDライトによる電飾など、順次、取組みを進めております。中でも、記念のロゴマークの使用については、今般、相互協力協定に基づき、民間企業による公認記念ポロシャツなどの販売も始まっており、PR効果が着実に表れているところであります。

さらには、この夏、東京銀座のアンテナショップ「銀座の金沢」において、「白山開山1300年」をテーマに「白山の伝統工芸とクラフト展」や「白山の食と酒のイベント」などを開催し、首都圏での積極的なPRを行っております。なお、今週の土曜日から、東京都文京区で開催される「白山まつり」に観光ブースを出展し、「白山開山1300年」をPRする団扇を来場者に配布するなど、さらなる周知を図ってまいりたいと思っております。来年の記念イベントには、首都圏から多くの方々に来訪いただけるよう、引き続き、精力的なPR活動を展開してまいります。

次に、学校施設の整備充実についてであります。

2020年の東京オリンピックに向け、次に続く若い世代の成長が望まれるところであります。本市といたしましては、オリンピックなどの世界大会で活躍を目指す、競泳や水球の一流選手を育成するため、この度、松任中学校のプールをフルシーズン使用ができるよう、温水化整備を計画いたしました。

本市では、中学校において水球が盛んであり、特に、松任中学校は、全国大会で優勝するなど、輝かしい成績を上げております。さらに、今年のインターハイで優勝いたしました金沢市立工業高等学校の男子チームのメンバーの多くが、本市の出身者であり、本市から、全国レベルの有望な選手を輩出いたしております。今回、このプールの温水化により、さらなる競技力の向上と若手選手の育成強化を図るものであり、今年度内の完成を目指し、今議会に関連工事費等を補正計上

したところであります。

また、松任小学校第二体育館につきましては、今月より供用を開始いたしました。この体育館は、2階にアリーナと用具庫を配し、1階に剣道が行えるプレールームやホールを備えており、松任小学校の体育の授業のほか、地域の新たな活動拠点として、広く活用いただけるものと思っております。

それでは、提案いたしました諸議案につきまして、ご説明申し上げます。

提出案件は、決算認定13件、補正予算案4件、条例案1件、事件処分案4件、報告案件2件の計24件であります。

はじめに、議案第79号から第91号までの平成27年度の一般会計をはじめとする13会計の決算についてであります。

まず、一般会計につきましては、実質収支で約11億円を繰り越すことができたところであり、国民健康保険などの特別会計及び水道事業会計などの企業会計につきましては、それぞれの事業の目的に沿い、適切な執行に努めた結果、概ね堅実な決算を結ぶことができました。これもひとえに、議員各位をはじめ、市民の皆さまのご理解、ご協力の賜と深く感謝を申し上げる次第であり、今後とも、市民生活の安全・安心を最優先に、多様な行政需要に的確に対応する一方、健全な行財政運営に努めてまいり所存であります。

次に、議案第92号から第95号までの平成28年度補正予算案についてであります。

まず、一般会計につきましては、補正予算額11億6800万円余となるものであります。その主なものといたしましては、総務費では平成27年度決算剰余金の二分の一相当額として、5億6000万円余を財政調整基金へ積み立てるほか、ネットワークの強靱化を図るための情報セキュリティ対策強化事業費などを計上するものであります。また、民生費では、保育料軽減に伴うシステム改修事業費などを計上し、衛生費では、再生可能エネルギー対策事業及びB型ワクチン定期接種事業費を計上いたしております。さらには、農林水産業費では、農業者等が行う高収益

な作物や栽培体系への転換を図るための産地パワーアップ事業補助金のほか、先進地の事例を参考としたマツ苗の活着率を高める保安林等保育実証事業に係る所要の経費などを計上し、商工費では、店舗改装費等に対して、支援する商店街賑わい創出事業補助金などを計上いたしております。また、土木費では、道の駅整備事業につきまして、基盤造成及び地域振興施設の建築工事費に加え、債務負担行為を設定するほか、市道福留笠間線の石川踏切拡幅に係る緊急対策踏切整備事業について、債務負担行為の設定などを行うものであります。さらに、教育費では、エネルギー教育推進事業費などを計上いたしております。

特別会計につきましては、国民健康保険特別会計において、国民健康保険システム改修に係る経費を計上し、介護保険特別会計では、介護給付費準備基金への積立金などを計上いたしております。さらに、湊財産区特別会計については、決算剰余金の基金への積立金を計上するものであります。

次に、議案第96号の条例案について、ご説明申し上げます。

「白山市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、新たな農業委員会制度に対応するため、関係規定を改正するものであります。

次に、議案第97号から第100号までの事件処分案につきまして、ご説明を申し上げます。

「請負契約」につきましては、白山ろく地域に係る「防災行政無線同報系システム整備工事」を施工するため、また、「請負契約の一部変更」につきましては、「河内小学校建設工事」に係る校舎及び屋内運動場の建築について、新労務単価の適用による工事費の増額に伴い、契約金額に変更が生じたため、条例の規定に基づき、さらには、「平成27年度白山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分」につきましては、未処分利益剰余金を減債基金及び建設改良積立金に積み立てることについて、地方公営企業法の規定に基づき、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

次に、報告第15号及び第16号の報告案件について、ご説明を申し上げます。
「平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業決算に基づく資金不足比率」につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めにより、また、一般財団法人白山市地域振興公社の経営状況の報告につきましては、地方自治法の定めにより、それぞれ議会へ報告するものであります。

以上をもちまして、8月会議に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。